

科目名	家族看護学演習 Family Nursing Seminar for Certificate Nursing Specialist
授業形態	演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 A・B 月曜日3・4(他曜日への振り替えあり。各回、受講生と協議の上日程決定します)
単位数	2単位
担当教員名	涌水 理恵 安梅 勅江 小澤 典子 非常勤講師:入江 佳子
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA) オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが事前にメール連絡をしてアポイントメントをとること 涌水 理恵 riwaki@md.tsukuba.ac.jp 安梅 勅江 anmet@md.tsukuba.ac.jp 小澤 典子 nozawa@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)家族の発達段階(家族周期)から捉えた家族看護の特徴や課題を理解できる。 (2)保健医療制度や福祉制度、また看護実践の動向や現状などを考え、その領域の家族員の健康レベルにおける全体像を明確化できる。 (3)健康障害を有する家族員と家族への卓越した援助が必要な患者やその家族の事例を用いて、科学的・理論的な視点から家族を理解し、家族像を形成できる。 (4)家族のライフサイクルの段階に則した事例を用いて、家族員の疾病・障害に対する診断・治療ができる。 (5)事例を用いて、科学的・論理的な視点から家族のアセスメント、家族の健康と生活の関連のアセスメントなどを行うことができる。 (6)アセスメントに基づく家族看護介入方法の看護計画を立案をできる。 (7)事例に関するアセスメントや看護計画についてをプレゼンテーションし、科学的・論理的な視点からディスカッションできる。
他の授業科目との関連	家族看護学特論、家族看護学基盤実習
履修条件	なし
授業概要	家族の発達段階の特徴を踏まえたうえで家族支援専門看護師による卓越した介入が必要な患者やその家族の健康や生活に関するアセスメント、家族への具体的な看護介入の方法、家族員の健康障害に関わる治療の過程を習得する。
キーワード	家族の生活、家族の健康、家族のアセスメント、家族へのケア介入
授業計画	1(9/10 2限)(成人期における家族のアセスメントと看護介入の実際)(入江・小澤) 2(9/10 3限)(成人期における家族のアセスメントと看護介入に関するディスカッション)(入江・小澤) 3(未定)(家族看護学演習の概説)(安梅) 4(未定)(新婚期における家族の健康レベルにおける全体像や課題)(安梅) 5(未定)(新婚期における家族のアセスメントと看護介入の実際)(安梅) 6(未定)(新婚期における家族のアセスメントと看護介入に関するディスカッション)(安梅) 7(未定)(養育期における家族の健康レベルにおける全体像や課題)(安梅) 8(未定)(養育期における家族のアセスメントと看護介入の実際)(安梅) 9(未定)(養育期における家族のアセスメントと看護介入に関するディスカッション)(安梅) 10(未定)(教育期における家族の健康レベルにおける全体像や課題)(安梅) 11(未定)(教育期における家族のアセスメントと看護介入の実際)(安梅) 12(未定)教育期における家族の健康レベルにおける全体像や課題)(安梅) 13(未定)(老年期における家族の健康レベルにおける全体像や課題)(安梅) 14(未定)(老年期における家族のアセスメントと看護介入の実際)(安梅) 15(未定)(老年期における家族のアセスメントと看護介入に関するディスカッション)(安梅) 16(未定)(成人期における家族の健康レベルにおける全体像や課題)(安梅) 17(未定)(在宅で療養する患者家族の健康レベルにおける全体像や課題)(涌水・小澤) 18(未定)(在宅で療養する患者家族のアセスメントと看護介入に関するディスカッション)(涌水・小澤) 19(未定)(地域で生活する患者家族の健康レベルにおける全体像や課題)(涌水・小澤) 20(未定)(地域で生活する患者家族のアセスメントと看護介入に関するディスカッション)(涌水・小澤)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	演習30時間 事前に課題を行い、プレゼンテーションの準備およびクリティークの準備を万全にして授業に臨む。 毎回プレゼンテーションをしたのち、ディスカッションを実施する。 授業外でも、専門看護師による家族アセスメントおよび介入が必要な事例、事例展開に関する文献、患者とその家族のケアを中心とした介入事例などの文献を精読・学修すること。

成績評価方法	<p>15コマ以上の出席と最終評価が60点以上が単位主要要件である。</p> <p>成績評価方法および評価配分は以下の通り。毎回、プレゼンテーション(50%)、ディスカッション(50%)で、到達目標の達成度を以下の基準に基づいて判定し、全20回分の平均をとって成績を評価する。</p> <p>評価基準は以下の通り。</p> <p>到達目標の1～5を指導に従って大旨達成できればC以上と判断する。</p> <p>到達目標の1～7を指導に従って大旨達成できていると判断されればB以上と判定する。</p> <p>到達目標の1～7について優れていると判断され、6と7を行っているとは判断されればAと判定する。</p> <p>到達目標の1～7について非常に優れていると判断され、積極的に6と7を行っているとは判断されればA+と判定する。</p>
教材・参考文献・配布資料等	随時紹介・随時配布する。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	やむを得ず欠席する場合には事前に必ず申し出ること。やむを得ず欠席する場合には事前に必ず申し出ること。30分を過ぎた遅刻は欠席とみなす。